



ごあいさつ

新緑の候 皆様方におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より皆様方には大変お世話になっております。



4月の活動内容についてご報告させていただきます。

今後もこれまで同様、皆様のご意見に耳を傾け、町の課題に真摯に向き合い、よりよいふるさと愛南づくりをめざして取り組んで参りますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2026年5月

愛南町議会議員 かぎやま 茂

活動報告

4月	1日	児童発達支援センター開所式
	6日	議会運営委員会 宿毛市議会視察
	10日	議員全員協議会
	14日	議会運営委員会 宇和島市議会視察
	17日	第2回愛南町議会臨時会 議会運営委員会
	28日	議会運営委員会 議会広報常任委員会

活動 情報収集、相談等依頼者への対応など

- 8日 平城小学校入学式
- 9日 御荘中学校入学式
- 13日 魅力化事業に係る寮建設説明会

議会運営委員会 宿毛市議会視察 (令和8年4月6日)

- 宿毛市議会 議会運営方法について

議員全員協議会 (令和8年4月10日)

- 南宇和高校学生寮について
- 申し合わせ事項等議会運営委員会の検討進捗状況についてほか

議会運営委員会 宇和島市議会視察 (令和8年4月14日)

- 令和8年第2回愛南町議会臨時会議案について
- 宇和島市議会 議会運営方法について

第1回愛南町議会定例会 (令和8年4月17日)

私の賛否 (議案数:3 賛成:3 反対:0)

議案

番号	件名	賛否	備考(全員賛成は未記載)
1	承認第2号 専決処分第2号の承認を求めることについて(愛南町税条例の一部を改正する条例)	賛成	国の法律改正による
2	承認第3号 専決処分第3号の承認を求めることについて(愛南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	賛成	国の法律改正による
3	第42号 令和8年度愛南町一般会計補正予算(第1号)について	賛成	賛成多数 補正額3億6,388万円追加、総額170億4,788万円 南宇和高校寮建設費

議会運営委員会 (令和8年4月28日)

- 委員会制視察先、ハラスメント条例、一般質問様式等について

議会広報常任委員会 (令和8年4月28日)

- 6月号編集について

あとがき

南宇和高校学生寮建設に係る補正予算賛成理由

今、私たちが向き合っているのは、単なる「建物の建設」の是非ではありません。愛南町の希望の象徴である南宇和高校を守り、この町を「消滅」の危機から救うための、決断であります。

一部には「慎重な議論」を求める声もありますが、時間を浪費することは全国募集の遅れを招き、他自治体との競争に敗北することを意味します。高校が統廃合されれば、現役世代の流出、不動産価値の下落、商店街の衰退など、計り知れない経済的損失となります。この「負の連鎖」を断ち切るため、今すぐ建設を決断することこそが、将来世代に対する私たちの責任であります。

本事業において、ムービングハウスを選択した理由は極めて合理的かつ戦略的です。

第一に、圧倒的なコストパフォーマンスとスピードです。従来工法の3分の2程度の事業費で、かつ約4ヶ月という短期間での整備が可能です。町有地を活用することで、不必要な用地購入費を抑えつつ、令和9年4月からの受け入れという、絶対的な目標に間に合わせる事ができます。

第二に、将来の不確実性への対応力です。万が一の需要変化にも、事務所や地域交流施設への転用、さらには建物の移動やリユースが容易な設計となっており、従来の固定的な公共施設にはない「持続可能性」を備えています。これは、変化の激しい現代において最もリスクの低い選択と言えます。

第三に、懸念される経済性についてです。本事業は地元建設業者への配慮もなされています。

ムービングハウスの特性を活かし、製造は工場で行うものの、基礎工事や外構、ライフラインの整備、および将来的なメンテナンスなど、地元業者が入札に参加できる余地を十分に確保しています。

これにより、町外への資金流出を抑え、地元経済にも直接的な恩恵をもたらす仕組みとなっています。また、寮生 20 人が 3 年間で消費する食費や日用品費は、地元の商店を潤す確実な財源となります。

第四に、防災上の懸念についてです。

建設予定地は海拔 8m に加え、45cm のかさ上げ施工を行うことで、物理的な安全性を確保します。

万が一の際も、指定避難所まで徒歩 2 分以内という迅速な避難が可能です。「浸水域だから不可」という短絡的な反対は、現実の安全対策を無視した議論と言わざるを得ません。

「魅力ある教育」と「安心できる住環境」は車の両輪です。どちらか一方が欠けても、全国募集の成功はありません。

最新の学習環境を備えた寮の整備は、遠方の保護者にとっても決定的な安心感と訴求力になり、南宇和高校を選ぶ強力な PR 材料となります。

学生寮の建設は、愛南町で学びたいと願う若者の夢を支え、同時に町の活力を次世代に繋ぐための「希望の拠点」を築くことです。

10 年、20 年後のこの町の未来を見据えたとき、今、投資の手を緩めてはなりません。

スピード感を持ち、いまやってみることが最大の未来への投資であると考えています。

2026.04 No.57

詳細はこちらへ

かぎやま 茂 後援会

愛媛県南宇和郡愛南町小山 117 番地

TEL・FAX 0895-84-2451

E-Mail info01@kagiyama.online

HP



ブログ



X



LINE

